

公明党 西条市議団

一般質問

ドライブレコーダー 公用車への設置状況は？

問

公用車へのドライブレコーダーの設置については、既に多くの自治体で取り組まれており、走行状態を記録することで、事故状況の把握や事故処理の迅速化、安全運転意識の向上が図られるとともに、地域の防犯対策としても注目されているが、本市における設置状況は、どのようなになっているのか。



公用車に設置されているドライブレコーダー

答

安全運転意識の向上にドライブレコーダーの設置は有用と考えており、西条市公用車ドライブレコーダーの設置及び管理運用に関する要綱の策定により、平成27年度更新車両から、順次、設置を行っている。

現在、公用車186台のうち34台にドライブレコーダーを設置しているが、今後は、更新車両を優先して全ての公用車に設置する予定であり、併せて、職員の安全運転意識の向上にも取り組んでいきたい。

救急医療情報キット 全世帯配布の考えは？

問

救急医療情報キット普及事業は、事業開始から5年が経過し、これまで救急医療の現場で活用されてきたところであるが、救急医療情報キットの全世帯への配布について、どのように考えているのか。

答

本事業は、高齢者や障がい者の安全・安心の確保を目的に、救急活動を速やかに行うための救急医療情報キットを配布するものであり、救急隊員からは、救急医療情報キットにより氏名や病歴などの医療情報が速やかに入手でき、救急搬送時の迅速な対応に役立つとの報告を受けている。

現在のところ、配布による効果や費用、配布方法の課題などから、全世帯への配布は考えていないが、高齢者や障がい者のかたがいる世帯に限らず配布対象者を拡大し、申請により配布することは可能ではないかと考えている。



救急医療情報キット

リベラル西条

一般質問

市の産業政策

公約の取組は？

問

市長公約の中にある、新産業の創造や地域中小企業支援について、具体的にどのように考えているのか。

答

新産業の創造については、地域再生計画「地域産業資源を活用した競争力強化・新産業創出プロジェクト」が平成28年12月13日に国から認定を受けたところであり、本計画において水素エネルギープロジェクトを新たな産業創出へ向けた取組として、明確に位置付けている。今後、市内外企業や大学、関係機関などの連携強化を図り、水素エネルギーを核とした新事業創出を推進し、水素関連産業の集積化につなげていきたい。

加えて、CLT（直交集成板）一貫製造拠点や医療・医薬品関連産業など、成長産業分野の技術を核としたプロジェクトにも取り組むこととしており、新たな雇用を生み出し、地域経済の成長を牽引する新たな産業の創造・育成を実現させていきたい。

地域中小企業支援については、特に中小企業における事業承継や人材確保、販路拡大、生産性向上による経営改善などを重要な課題と考えており、現状やニーズなどを踏まえながら関連する施策を継続・強化していくとともに、新たな施策立案を行っていきたい。

下水道使用料の改定に伴う課題と対応策は？

問

西条処理区における下水道使用料は、平成29年3月請求分から改定され、人頭制から従量制に移行されることとなったが、改定内容を市民にどのように周知しているのか。

また、改定に伴う課題をどのように把握し、対応しているのか。